

平成 27 年度 実験・実習技術研究会報告

松本英敏，矢北孝一，須惠耕二，上田誠，稲尾大介，笠村啓司

1 開催概要

平成 27 年度の実験・実習技術研究会が山口大学の吉田キャンパスで開催された。参加機関は 58 大学，24 高専，3 研究所の計 85 機関となり，参加登録数は 478 名であった。下記に開催スケジュールを示す。

- ・会 場：山口大学 吉田キャンパス
- ・期 間：平成 28 年 3 月 3 日（木）～3 月 4 日（金）
 - 3 月 3 日（木）
 - ・シンポジウム 9：30～11：30
 - ・開会式・記念講演 13：00～14：25
 - ・ポスター発表 15：00～17：00
 - ・情報交換会 18：30～20：30
 - 3 月 4 日（金）
 - ・口頭発表 9：00～16：00

写真-1 シンポジウム



写真-2 ポスター会場

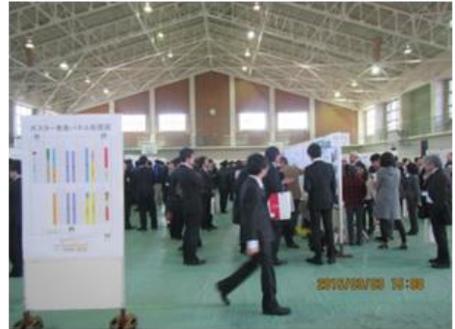


写真-3 口頭発表



2 シンポジウム

3 月 3 日に「大学の技術職員組織を考えるシンポジウム in 西京」と題したシンポジウムがパネルディスカッション形式で開催された。現在の各技術部が抱える課題として，若い技術職員の「やりがい」のある職場環境の構築，適正な評価，キャリアパスの透明性，技術の伝承等がある。この課題に関して先駆的に全学組織化を実施した 4 大学（岩手，静岡，鳥取，広島）の技術職員をパネラーに迎え，全学組織の事例を紹介すると共に，今後の技術職員組織のあり方について意見交換が実施された。シンポジウムでは，S1～S4 セッションが用意され，S1 組織化の背景，S2 現組織の紹介，S3 抱える課題，S4 今後のあり方をテーマに各大学が取組んでいる事例等を示し，会場からの質問に回答する形式で進行された（写真-1，資料参照）。

3 ポスター発表

シンポジウム，開会式，記念講演に引き続きポスター発表が実施され，14 分野 156 編の発表があった。本学からは，教育・理学部から 2 編の発表があった（写真-2）。

4 口頭発表

3 月 4 日に，15 分野 76 編の口頭発表があり，本技術部の参加者全員が各分野で口頭発表を行い，討議にも積極的に参加し技術交流を深めることができた。その内訳は，安全衛生技術分野Ⅱ：須惠，情報Ⅰ：稲尾，機械Ⅲ：笠村，土木Ⅱ：松本，矢北，上田であった（写真-3）。

最後に，実験・実習技術研究会への参加に多大なるご理解とご支援を頂きました村山工学部長はじめ技術部管理運営委員会の先生方に感謝申し上げます。